



県内初！本音が話しやすいメンタルヘルス対策 “アバター”を活用した職員向け外部相談窓口を一部導入します

龍ケ崎市では、職員のメンタルヘルスを支える新たな取り組みとして、オンライン上の「アバター」を活用した外部相談窓口を一部職員に対して導入します。令和6年12月から運用を開始し、県内の自治体では初めての試みとなります。

「アバター」とは、相談者や専門の心理師がオンライン上で利用するキャラクターで、顔を見せることなく、仕事上の悩みなどを相談できる仕組みです。この方法により、プライバシーが守られ、より安心して、相談ができ本音が話しやすい環境を提供します。

今回の一部導入は、昨年度に試験導入をしたところ好評であったことから、入庁1年目の新規採用職員や新任課長を対象に行い、オンラインで心理的支援を行います。

職員が安心して働ける環境を整え、心身の健康を守るための取り組みを進め、結果的に市民のみなさまにより良いサービスを提供できるよう、事業を展開します。

【アバターイメージ】



- | | |
|-----------|---|
| ■対象者 | 新規採用職員、新任課長(約20人程度) |
| ■導入するシステム | 名称:令和6年度龍ケ崎市こころの健康支援業務委託
委託先:パーソルビジネスプロセスデザイン(株)
委託料:627,000円 |

担当課

龍ケ崎市 総務部 人事行政課 人事グループ
担当者:高阿田・牧山(たかあだ・まきやま)
連絡先:0297-60-1512(直通)